

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針																										
44	とくしまの教育力の活用	学校の応援団づくり 学校サポーターズクラブ設置市町村数 <table border="1"> <caption>とくしまの教育力の活用 (学校サポーターズクラブ設置市町村数)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>24</td> </tr> </tbody> </table>	年度	数	H23	5	H25	15	H26	24	<p>事業目的 地域による学校支援をさらに促進するため、本県ならではの取組として学校サポーターズクラブ認証制度を推進し、活動の主体となる地域の各種住民団体の連合体の成立をめざし、「地域ぐるみの学校支援事業（学校支援地域本部）」の展開と併せ、地域ぐるみの学校支援体制づくりを推進する。</p> <p>取組状況 (H26年度分)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H23)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H26)</th> <th>目標値(H26)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>15</td> <td>24</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>100.0%</td> <td>24</td> <td>24</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：市町村)</p> <p>(成果) 全市町村62のクラブを認証した。学校地域支援本部と併せて、地域による学校支援活動の広がりをみせた。</p> <p>評価 (課題) 学校・家庭・地域が連携して学校支援活動を行うことが、地域の教育力向上につながるが、市町村及び学校の理解を深め、認証クラブ数のさらなる拡充を図る必要がある。</p> <p>今後の取組方針 認証クラブにおいて、これまで団体・グループが培ってきたノウハウを活かした地域の学校に対する学校支援活動の充実及び多様化・継続化を図るため、効果的な学校支援活動の方法等について情報提供などの支援を行う。また、実施市町村の推進にあたっては、施策を同じくする「地域ぐるみの学校支援事業（学校支援地域本部事業）」と併せて展開するとともに、「放課後子供教室推進事業」と連携する中で、家庭及び地域の教育力の定着・向上を目指す。</p>	基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)	5	15	24				100.0%	24	24
年度	数																												
H23	5																												
H25	15																												
H26	24																												
基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)																					
5	15	24				100.0%	24	24																					
45	とくしまの教育力の活用	開かれた学校づくり 「県立学校地域開放プラン」の展開 担当課 教育総務課	<p>事業目的 県立学校において、学校の特色を活かした地域貢献活動の取組を促進する。</p> <p>取組状況 (H26年度分)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H26)</th> <th>目標値(H26)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>展開</td> <td>展開</td> <td>全校展開</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>全校展開</td> <td>取組内容の充実</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：一)</p> <p>(成果) 学校が実施する地域開放、地域貢献活動により、県民の教育に対する理解を深め、学校教育の振興への気運醸成に貢献できた。</p> <p>(課題) 地域交流から地域貢献への発展を促進させる必要がある。</p> <p>今後の取組方針 学校における地域開放、地域貢献活動を発展させ、地域と学校のつながりを一層深める。また、「とくしま教育の日」シンボルマークの活用など、積極的な広報に努める。</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)	展開	展開	全校展開					全校展開	取組内容の充実								
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)																					
展開	展開	全校展開					全校展開	取組内容の充実																					

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
46	とくしまの教育力の活用	<p>開かれた学校づくり 学校評価(学校関係者評価)結果を広く公表している学校の割合</p> <table border="1"> <tr><td>基準値(H23)</td><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>達成率(H26)</td><td>目標値(H26)</td><td>目標値(H29)</td></tr> <tr><td>75</td><td>92.5</td><td>12月以降判明</td><td></td><td></td><td></td><td>100</td><td>100</td><td>100</td></tr> </table>	基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)	75	92.5	12月以降判明				100	100	100	<p>事業目的 学校における学校評価の目的は、各学校が組織的・体系的な改善を図り、学校評価結果を公表することにより説明責任を果たすとともに、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進めることである。このことから、公立の幼稚園、小・中・高及び特別支援学校における学校評価結果について、学校便りや学校のホームページへの掲載等の方法により、保護者や地域住民等に対して広く内容が周知され、学校の現状と課題について共通理解を深めて相互の連携を促し、地域とともにある学校づくりに資する。</p> <p>取組状況(H26年度分) 3年に1度実施される文部科学省による調査に準じて平成24年度間における学校評価の実施状況を調査した。調査結果は、県のホームページに掲載するとともに市町村教育委員会及び各学校に通知し、学校評価の充実改善の取組を促した。平成26年度間における学校評価の実施状況については、平成27年度に調査する予定であるが、平成26年度間における学校評価結果の公表に関しては、平成26年度内に途中経過を調査した。</p> <p>評価 (成果) 公立学校における学校評価結果の公表に関して、広く公表した学校は学校関係者評価では平成24年度間が83.1%、平成25年度間が92.5%であった。なお、平成26年度間における状況については、平成27年度に調査予定である。</p> <p>今後の取組方針 (課題) 平成27年2月段階での平成26年度の公立学校における学校評価結果の公表率に関しては、広く公表した学校は実施予定も含め学校関係者評価では100.0%とされている。なお、県立学校に関しては、学校評価の結果を広く公表していることから、ともにこれまでの取組を継続・充実することが望まれる。 学校評価に関する調査結果(平成26年度間途中経過及び正式調査)を踏まえ、学校便り等での直接説明や、地域の公共施設での掲示板の活用等の具体例を参考に、学校評価結果を「広く」公表することの充実に向けて、各市町村教育委員会等に指導・助言を行う。</p>
基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)													
75	92.5	12月以降判明				100	100	100													
47	とくしまの教育力の活用	<p>開かれた学校づくり コミュニティ・スクールモデル校数(累計)</p> <table border="1"> <tr><td>基準値(H24)</td><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>達成率(H26)</td><td>目標値(H26)</td><td>目標値(H29)</td></tr> <tr><td>13</td><td>21</td><td>21</td><td></td><td></td><td></td><td>150.0%</td><td>14</td><td>20</td></tr> </table>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)	13	21	21				150.0%	14	20	<p>事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針 本事業は、保護者や地域住民が、一定の権限と責任を持って学校運営に参画し、より良い教育の実現を目指すため、地域に開かれ、地域に支えられる学校づくり(学校運営協議会制度)を推進するものである。</p> <p>事業目的 東みよし町及び北島町全ての小中学校がモデル校として新たに決定した。また、年度末には真光中学校が平成27年度の本事業のモデル校として新たに決定した。</p> <p>取組状況(H26年度分) (成果) 事業の趣旨について、広報した結果、市町村の理解により順調に事業が進んでいる。事業での成果を経て、新たに北島町小中4校がコミュニティ・スクールに指定された。</p> <p>評価 (課題) 地域に開かれ、地域に支えられる学校づくりをより一層推進するためには、モデル事業の継続した取組、さらなる普及・広報が必要である。</p> <p>今後の取組方針 取組の成果等を広報する場(あわ教育発表会)を設定し、さらに普及・推進する。見直しの結果、平成27年度以降の目標値を上方修正する。</p>
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)													
13	21	21				150.0%	14	20													

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針																																				
50	幼児期の成長を支える取組の推進	<p>幼児教育の充実 幼稚園・保育所・認定こども園と小学校との連携への取組状況</p> <p>担当課 学校政策課</p>	<p>事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>本事業は、幼稚園と保育所、認定こども園、小学校との連携・接続を強化し、発達や学びの連続性を踏まえた教育活動を推進するとともに、家庭、地域社会の教育力を生かしたネットワークを構築することにより、幼児の日々の生活の連続性を踏まえた幼児教育の充実に取り組む。</p> <p>幼稚園教諭等に対して各種研修を開催し、幼保小等の連携・接続における意識や実際の取組方法の指導・助言を行った。</p> <p>幼稚園、保育所、認定こども園と小学校との連携・接続の状況について調査し、その実態把握に努めるとともに、各市町村に対して情報提供した。</p> <p>「徳島県幼児教育振興アクションプランII」策定検討会議を開催し、幼保小等の連携・接続における課題把握と課題解決に向けた協議を行い、新たなアクションプランの重点目標の1つとして「小学校との連携・接続の推進」を掲げた。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>基準値</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>達成率(H26)</td> <td>目標値(H26)</td> <td>目標値(H29)</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>推進</td> <td>推進</td> </tr> </table> <p>(単位：—)</p> <p>(成果) 幼稚園、保育所、認定こども園、小学校においては、子どもたち一人一人の成長や互いの教育活動について共通理解を図るとともに、円滑な接続のための連携が図られている。</p> <p>(課題) 適切な教育環境を計画的に構成し、幼児一人一人の発達段階に応じた指導を通して、健やかな成長を促していくことが求められている。</p> <p>今後の取組方針</p> <p>「徳島県幼児教育振興アクションプランII」において重点目標「小学校との連携・接続の推進」を設定し、幼稚園・保育所・認定こども園と小学校との交流の機会を充実させ、相互理解を基にした連携・接続が推進されるよう、県内の市町村に対して幼稚園、保育所、認定こども園と小学校との連携に関する調査を実施し、その実施状況や課題等を各市町村に情報提供する。</p> <p>事業目的</p> <p>本事業は、幼稚園において教育課程に係る教育時間の終了後等に、地域の実態や保護者の要請に応じて、希望者を対象に行う預かり保育の充実を図ることを目的としている。保育記録等の活用を通して一人一人の幼児の状態を把握し、幼児自身が心身の安定を保ち、無理なく過ごせるように、個に応じた保育内容や環境への工夫・改善等の質的向上を図ることを推進する。</p> <p>各園における預かり保育について、預かり保育の状況を把握し、幼稚園教育要領に基づいた指導・助言を行った。</p> <p>学校計画訪問において、預かり保育の状況を把握し、幼稚園教育要領に基づいた指導・助言を行った。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>基準値</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>達成率(H26)</td> <td>目標値(H26)</td> <td>目標値(H29)</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>推進</td> <td>推進</td> </tr> </table> <p>(単位：—)</p> <p>(成果) 保育記録等の活用によって、教職員間で一人一人の幼児の状態についての共通理解が図られ、個に応じた保育内容や環境が整えられるよう各園で努めている。</p> <p>(課題) 人員確保や指導体制の整備及び施設の整備が必要である。</p> <p>今後の取組方針</p> <p>県内の市町に対して預かり保育に関する調査を実施し、その実施状況や課題等を把握し、各市町に情報提供するとともに、平成27年4月開始の「子ども・子育て支援事業」における「一時預かり事業」を各園が活用することにより、保護者や地域の実態に応じた預かり保育が充実し、一人一人の幼児の状態に即した保育内容や環境への工夫・改善等が図られることを推進する。</p>	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)	—	推進	推進					推進	推進	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)	—	推進	推進					推進	推進
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)																															
—	推進	推進					推進	推進																															
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)																															
—	推進	推進					推進	推進																															
51	幼児期の成長を支える取組の推進	<p>預かり保育の充実 保育記録等の活用による指導計画・保育内容の評価・改善</p> <p>担当課 学校政策課</p>	<p>事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>事業目的</p> <p>本事業は、幼稚園において教育課程に係る教育時間の終了後等に、地域の実態や保護者の要請に応じて、希望者を対象に行う預かり保育の充実を図ることを目的としている。保育記録等の活用を通して一人一人の幼児の状態を把握し、幼児自身が心身の安定を保ち、無理なく過ごせるように、個に応じた保育内容や環境への工夫・改善等の質的向上を図ることを推進する。</p> <p>各園における預かり保育について、預かり保育の状況を把握し、幼稚園教育要領に基づいた指導・助言を行った。</p> <p>学校計画訪問において、預かり保育の状況を把握し、幼稚園教育要領に基づいた指導・助言を行った。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>基準値</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>達成率(H26)</td> <td>目標値(H26)</td> <td>目標値(H29)</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>推進</td> <td>推進</td> </tr> </table> <p>(単位：—)</p> <p>(成果) 保育記録等の活用によって、教職員間で一人一人の幼児の状態についての共通理解が図られ、個に応じた保育内容や環境が整えられるよう各園で努めている。</p> <p>(課題) 人員確保や指導体制の整備及び施設の整備が必要である。</p> <p>今後の取組方針</p> <p>県内の市町に対して預かり保育に関する調査を実施し、その実施状況や課題等を把握し、各市町に情報提供するとともに、平成27年4月開始の「子ども・子育て支援事業」における「一時預かり事業」を各園が活用することにより、保護者や地域の実態に応じた預かり保育が充実し、一人一人の幼児の状態に即した保育内容や環境への工夫・改善等が図られることを推進する。</p>	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)	—	推進	推進					推進	推進																		
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)																															
—	推進	推進					推進	推進																															

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
52	社会教育における人権教育の充実	<p>生涯学習の視点に立った人権教育の充実 人権の視点に立ったサークル活動や交流の回数</p> <table border="1"> <caption>取組状況 (H26年度分)</caption> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H26)</th> <th>目標値(H26)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>7</td> <td>7</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>140.0%</td> <td>5</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：回)</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)	5	7	7				140.0%	5	15	<p>事業目的 人権の視点に立った活動をしている大学生のサークル等が、交流・活動するなかで青年層の人権意識の高揚を図るとともに、「あったかハートつながり隊・ひろがり隊」を組織し、各学校（園）等に派遣、活動することで人権教育の推進に資する。</p> <p>取組状況 (H26年度分) 大学生のサークル等による青年の相互交流や研修会、青年と子どもたちとの交流を行った。大学との緊密な連携を図る中、4大学6サークルが幅広い要請に応じた交流活動を実施した。</p> <p>評価 (成果) 人権の視点で活動しているサークルを、主に幼児・児童・児童の人権交流活動に派遣し、人権教育のより一層の充実を図るとともに、大学生の人権研修についても実施し、人権意識の高揚を図った。</p> <p>今後の取組方針 (課題) 要請数は多くあったが、日程が合わなかったり、大学の授業等と重なったりして、十分に活動できなかつたサークルがあった。</p> <p>これまでの経費を最大限に活かして、大学サークルの相互交流と子どもたちとの交流の充実を図る。また、市町村教育委員会、各学校（園）に対し、それぞれの既存の行事等にこの事業の活用を広げていきたい。</p>
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)													
5	7	7				140.0%	5	15													
53	社会教育における人権教育の充実	<p>生涯学習の視点に立った人権教育の充実 生涯にわたる人権に関する学習機会の充実</p> <p>担当課 人権教育課</p>	<p>事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>事業目的 同和問題をはじめ様々な人権問題の解決と識字学級相互の交流及び学校や社会教育団体等との交流活動を積極的に推進するとともに、社会啓発活動の促進を図ることを目的とする。</p> <p>取組状況 (H26年度分) 5市1町16学級の識字学級が活動している。識字学級では、文字の習得のみにとどまらず、生活や文化を豊かにするための学習内容を盛り込むなどの進捗を見通した取組が行われている。また、識字学級間や学校等との交流活動、さらには、外国人や障がい者等の参加に伴って、同和問題をはじめ様々な人権問題についての学習が行われており、人権啓発展等でその成果の発表・展示も行った。</p> <table border="1"> <caption>取組状況 (H26年度分)</caption> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H26)</th> <th>目標値(H26)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：一)</p> <p>評価 (成果) 文字の習得に加えて、生活や文化を豊かにする取組や学校や識字学級間との交流が行われた。識字学級生作品展では、一年間の活動の成果を作品として表現し、各識字学級同士の交流と県民への啓発につながる展示会となった。</p> <p>今後の取組方針 (課題) 児童生徒等との交流を図り、識字学級に対する理解を深めるとともに、教職員、高齢者や外国人の方など、識字学級の参加者は共学者として、相互に学び合うという姿勢を大切にしているため、今後も活動に対する理解をもった参加者を増やしていくことが重要となる。 今後とも生涯にわたる学習機会への充実について支援を行うとともに、同和問題をはじめ様々な人権問題の解決に向けての理解を深めるために、識字学級間の交流を積極的に実施し、活動のさらなる充実を図っていく。</p> <p>担当課 人権教育課</p>	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)	-	推進	推進	推進	推進	推進	推進	推進	推進
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)													
-	推進	推進	推進	推進	推進	推進	推進	推進													

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針																								
54	地域の教育に貢献する人材の育成	人権教育推進者の養成 社会教育における人権教育推進者の養成数 <table border="1"> <tr><th>基準値(H24)</th><th>H25</th><th>H26</th></tr> <tr><td>48</td><td>54</td><td>55</td></tr> </table>	基準値(H24)	H25	H26	48	54	55	<p>事業目的 徳島県人権教育推進方針に基づき、社会教育における人権教育の推進を図るため指導者の育成、確保等を総合的、体系的に図る指導者研修会を実施する。</p> <p>取組状況(H26年度分) 社会教育における人権教育を推進するため、市町村から推薦のあった推進担当者55名を対象として2日間の継続研修を実施した。「徳島県人権教育推進方針」に基づく人権教育や人権の視点でのまちづくりの講演、市町村における取組についての情報交換を行うとともに、体験的参加型による研修を行い、人権教育推進者の養成と資質向上を図った。</p> <table border="1"> <tr><th>基準値(H24)</th><th>H25</th><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>達成率(H26)</th><th>目標値(H26)</th><th>目標値(H29)</th></tr> <tr><td>48</td><td>54</td><td>55</td><td></td><td></td><td></td><td>114.6%</td><td>48</td><td>48</td></tr> </table> <p>(単位:人)</p> <p>評価 (成果)6月に「社会教育における人権教育指導者研修会」を2回開催し、外部有識者の意見を頂き、各市町村の諸事業推進に役立つことができた。また、体験的参加型による研修を実施し、人権教育推進者の養成と資質向上を図った。</p> <p>今後の取組方針 (課題)研修会参加者の経験年数にばらつきがあり、研修内容の工夫改善が必要である。また、各市町村の諸事業にどのようなように反映したかを把握するために、情報をさらに共有できる研修会を実施していく。</p> <p>今後の取組方針 毎年約50名の推進者が参加しているが、研修の成果を広めることができるよう、参加者の出席についても引き続き働きかけるとともに、個別人権課題についての研修や体験的参加型研修の内容を充実し、社会教育における人権教育推進者の資質の向上と計画的な推進者の確保につなげる。</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)	48	54	55				114.6%	48	48
基準値(H24)	H25	H26																									
48	54	55																									
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)																			
48	54	55				114.6%	48	48																			
55	地域の教育に貢献する人材の育成	担当課 生涯学習政策課 施策・成果指標 スキルを社会に還元する機会の充実 学校・家庭・地域連携支援スペシャリスト認定数(累計)	<p>事業目的 学校・家庭・地域が連携した地域の課題解決を支援するため、防災生涯学習を中心としたまちづくりのキーパーソンとして「学校・家庭・地域連携支援スペシャリスト」を養成し、小学校区に派遣する。</p> <p>取組状況(H26年度分) 養成した「学校・家庭・地域連携支援スペシャリスト」を対象に、個人またはグループで、学校・家庭・地域とをつなぐ役割を担うキーパーソンとしての具体的な活動を確認するための事前研修会及びワークショップを実施した。また、阿南市幼小中合同防災教育夏期研修会や、県立視覚・聴覚支援学校防災学習キャンプ等6箇所へのべ29名を派遣した。</p> <table border="1"> <tr><th>基準値(H24)</th><th>H25</th><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>達成率(H26)</th><th>目標値(H26)</th><th>目標値(H29)</th></tr> <tr><td>14</td><td>41</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>(単位:人)</p> <p>評価 (成果)地域の防災、減災をテーマとして、地域住民および児童・生徒とともに「避難所設置」「非常食調理」「防災紙芝居」などの実践的な研修活動を支援することで、世代間交流を図ることができた。</p> <p>今後の取組方針 (課題)県内防災生涯学習の拠点小学校への派遣において、認定された学校・家庭・地域連携支援スペシャリストの中から、地域の特性に応じたスペシャリストを選定し、派遣する体制を整備する必要がある。</p> <p>今後の取組方針 養成したスペシャリストについては、研修会や活動報告会を実施し、各地域の課題を共有し、個々のスキルアップを図るほか、防災人材育成センターとの連携を図り、主体的な活動をバックアップする。また、派遣事業の周知のため、ホームページやチラシ等で情報や活動報告を提供し、積極的な広報を図る。</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)	14	41													
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)																			
14	41																										

基本方針4 夢と希望に向かって学び続ける教育の実現

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針																										
56	多様なニーズに対応した学習機会の提供	<p>学習支援体制の充実 マナビイセンターの利用者数</p> <table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>利用者数</th> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>46,877</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>48,069</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>49,997</td> </tr> </table>	年度	利用者数	H23	46,877	H25	48,069	H26	49,997	<p>事業目的 マナビイセンターは、本県の生涯学習の拠点として、生涯学習推進の場を提供するとともに、各種研修や講座の開催により、県民のライフステージに応じた多様な学習機会の場を提供する。</p> <p>取組状況 (H26年度分) マナビイセンター内の「図書コーナー」や「視聴覚ライブラリー」等の6つのコーナーの機能を十分に生かせるよう運営に努めるとともに、書籍の配置換えや縦横管えを適宜行い、来所者の増加を目指した。また、来所に繋がる情報発信も定期的にを行った。</p> <table border="1"> <tr> <th>基準値(H23)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H26)</th> <th>目標値(H26)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> <tr> <td>46,877</td> <td>48,069</td> <td>49,997</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>102.0%</td> <td>49,000</td> <td>52,000</td> </tr> </table> <p>(単位：人)</p> <p>評価 (成果) 購入した図書や視聴覚教材の周知や各月のおすすめ図書・おすすめてビデオ・DVDを広報し貸出数の増加に努めるとともに、県民のニーズに合わせて主催講座の新規開講等によるまなびいルームの利用者増加など、一定の成果を上げることができた。 (課題) 限られた予算の中で、新規の図書や視聴覚教材を県民のニーズに合わせて有効に購入することが必要である。また、毎年新しい講座を開講し、受講生の視野を広げることが必要である。</p> <p>今後の取組方針 図書コーナーや視聴覚ライブラリー、交流コーナーなど、マナビイセンターの持つ機能を十分に生かした運営に努めるとともに、来所に繋がる情報発信に加え、マスコミ等を活用しマナビイセンターを周知させることで、来所者の増加に繋げていく。</p>	基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)	46,877	48,069	49,997				102.0%	49,000	52,000
年度	利用者数																												
H23	46,877																												
H25	48,069																												
H26	49,997																												
基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)																					
46,877	48,069	49,997				102.0%	49,000	52,000																					
57	学びの環境の充実	<p>担当課 総合教育センター 施策・成果指標</p> <p>文化の森総合公園文化施設の充実 文化の森総合公園各文化施設入館者総計(累計)</p> <table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>入館者総計</th> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>1,702</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>1,839</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>1,909</td> </tr> </table>	年度	入館者総計	H23	1,702	H25	1,839	H26	1,909	<p>事業目的 文化の森総合公園文化施設において、文化や芸術に直接触れ合う機会の充実を図り、多くの県民に足を運んでいただける新機軸で魅力ある事業を実施する。</p> <p>取組状況 (H26年度分) 文化の森各館で企画展を開催したほか、多くの県民に親しまれるイベントを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・博物館 企画展 2回・特別陳列 1回 ・近代美術館 特別展 2回 ・鳥居龍蔵記念博物館 企画展 1回 ・季節イベントとして、「食べよう！文化の森フエスティバル」、「文化の森サマーマフェスティバル」、 「文化の森大秋祭り!!」、 「文化の森ウィンターフエスティバル」を開催 <table border="1"> <tr> <th>基準値(H23)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H26)</th> <th>目標値(H26)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> <tr> <td>1,702</td> <td>1,839</td> <td>1,909</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>99.9%</td> <td>1,910</td> <td>2,120</td> </tr> </table> <p>(単位：万人)</p> <p>評価 (成果) 魅力的な企画展やイベントを実施し、多くの来館者を集めることができた。 (課題) 文化の森の所蔵する膨大な資料の活用が進むよう、創意工夫に努める。</p> <p>今後の取組方針 資料の継続的な収集に努めるとともに、季節イベント等で体験型の催しを増やす等、県民目線に立った企画の実施に取り組む。また、文化の森の利用が少ない若い層をターゲットにした企画やファミリー層に好評な参加型の企画を増やすとともに、情報発信についても高校生の提案を募集するなど積極的に広報に努める。</p>	基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)	1,702	1,839	1,909				99.9%	1,910	2,120
年度	入館者総計																												
H23	1,702																												
H25	1,839																												
H26	1,909																												
基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)																					
1,702	1,839	1,909				99.9%	1,910	2,120																					

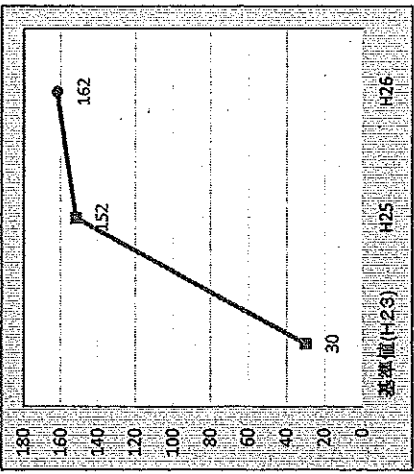
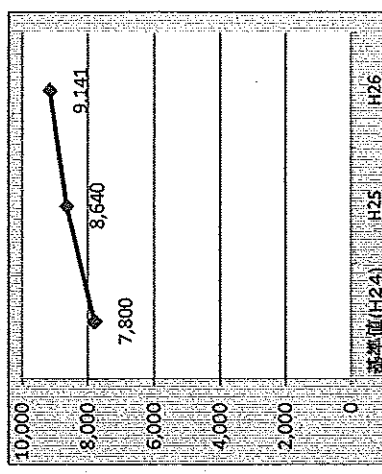
番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
58	学びの環境の充実	<p>ライフステージ等に応じた学習環境の充実 ライフステージ等に応じた講座や催し物の提供</p> <p>担当課 生涯学習政策課</p>	<p>市町村教育委員会が公民館等で実施する講座の状況を調査し、受講者のニーズの分析結果等を県教育関係機関及び市町村教育委員会にフィードバックすることにより、社会教育・生涯学習事業及び講座の充実を図る。</p> <p>市町村教育委員会を対象に「市町村社会教育実態調査」を行った。対象者、内容、取組事例などについて、公民館等で実施する社会教育・生涯学習事業・講座開設の状況を把握することができた。</p> <p>調査結果については、冊子及びPDFデータを市町村教育委員会及び県内教育関係機関に配布したほか、県ホームページで提供し、社会教育・生涯学習の推進に寄与した。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H26)</th> <th>目標値(H26)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>年代別のニーズの調査・研究</td> <td>年代別のニーズの調査・研究</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>年代別のニーズの調査・研究</td> <td>ライフステージに応じた学習機会の充実</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：回)</p> <p>(成果) 地域の社会教育・生涯学習の状況とニーズを把握し、結果をフィードバックすることができた。</p> <p>(課題) 地域により学習のニーズは大きく異なっており、満足度の高い学習機会の提供をすることが求められている。</p> <p>今後の取組方針 引き続き、市町村に対する「市町村社会教育実態調査」を行う。調査結果は市町村教育委員会及び社会教育委員会への冊子の配布に加え、広くホームページで公開し、社会教育・生涯学習事業の活用を努める。</p>	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)	-	年代別のニーズの調査・研究	年代別のニーズの調査・研究					年代別のニーズの調査・研究	ライフステージに応じた学習機会の充実
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)													
-	年代別のニーズの調査・研究	年代別のニーズの調査・研究					年代別のニーズの調査・研究	ライフステージに応じた学習機会の充実													
59	郷土とくしまから学ぶ機会の充実	<p>郷土とくしまに気づき学ぶ機会の充実 博物館、近代美術館、文書館、鳥居龍蔵記念博物館の学校への講師派遣回数</p> <p>担当課 文化の森振興本部</p>	<p>事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>学芸員等専門職員が学校で出前授業を行うことにより、子どもたちの郷土に対する理解を深める。</p> <p>学校からの依頼に応じて、講師を派遣した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・博物館 47回 ・近代美術館 65回 ・文書館 3回 ・鳥居龍蔵記念博物館 1回 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>基準値(H23)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H26)</th> <th>目標値(H26)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>53</td> <td>107</td> <td>116</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>232.0%</td> <td>50回以上</td> <td>50回以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：回)</p> <p>(成果) 子どもたちが郷土の自然や歴史・文化に対して理解を深めることができた。</p> <p>(課題) 博物館、近代美術館、文書館、鳥居龍蔵記念博物館の保有する資料を活用し、学校等での郷土の学習を推進することが求められている。</p> <p>文化の森各館の所蔵する資料の貸出や学芸員等の講師派遣をより一層進める。</p>	基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)	53	107	116				232.0%	50回以上	50回以上
基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)													
53	107	116				232.0%	50回以上	50回以上													

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
60	郷土とくしまから学ぶ機会の充実	施策・成果指標 伝統文化の継承と活用 保存団体の継承・活用事業の開催への支援	事業目的 保存団体の活動を支援するなどして、県民が伝統文化に触れ、体験する機会を充実させ、本県が誇る伝統文化の継承と活用を図る。 取組状況(H26年度分) 教育文化政策課に事務局を置く徳島県地域伝統文化総合活性化委員会が、「阿波人形じょうり伝承教室」や「あわ民俗芸能フォーラム」を開催した。 (単位：人) <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H26)</th> <th>目標値(H26)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>推定</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>推定</td> <td>推定</td> </tr> </tbody> </table> 評価 (成果)「あわ民俗芸能フォーラム」は県南部で初めて開催するとともに、「あわっ子文化大使」がボランティアとして参加し、民俗芸能への理解を深めた。 (課題)「阿波人形じょうり伝承教室」については、修了後に活動を続ける人の確保が課題である。「あわ民俗芸能フォーラム」は観覧者数を増やせるよう、広報を工夫する必要がある。 今後の取組方針 国の「文化遺産を活かした地域活性化事業」「伝統文化親子教室事業」を活用し、伝統文化の継承・活用事業を継続する。特に「阿波人形じょうり伝承教室」「あわ民俗芸能フォーラム」の充実を図る。また、平成25年度に策定した「徳島県伝統文化総合活性化計画」を踏まえ、伝統文化の活性化策を具体化していく。	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)	—	—	推定	—	—	—	—	推定	推定
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)													
—	—	推定	—	—	—	—	推定	推定													
61	郷土とくしまから学ぶ機会の充実	担当課 教育文化政策課 施策・成果指標 伝統文化の継承と活用 ふるさと人材バンクの登録人数	事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針 事業目的 県内の文化財や伝統文化に関する授業ができる方々に「ふるさと文化人材バンク」に登録してもらい、計画的に登録人数の増加に努めるとともに、学校においてふるさと徳島の文化に触れる機会を増やすことで、ふるさとを愛し、将来徳島の魅力について県内外で発信できる次世代の創造をめざす。 取組状況(H26年度分) 1年を通じて「ふるさと文化人材バンク」への追加登録に努めるとともに、年度末に既登録者に対する登録継続の確認を行った。 (単位：人) <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H26)</th> <th>目標値(H26)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>60</td> <td>72</td> <td>69</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>101.5%</td> <td>68</td> <td>75</td> </tr> </tbody> </table> 評価 (成果)「ふるさと文化人材バンク」の登録者数の拡大に努め、学校への人材派遣事業でのバンク活用を薦めた結果、多くの方が学校での出前授業で活躍することができた。 (課題)各学校の文化芸術活動が活性化されるよう多様な人材を確保し、周知に努める必要がある。 今後の取組方針 「ふるさと文化人材バンク」が学校現場でより一層活用されるよう、県内人材等と学校のニーズを把握しながら、新規の人材開拓に努める。	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)	60	72	69	—	—	—	101.5%	68	75
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)													
60	72	69	—	—	—	101.5%	68	75													

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的	事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針																											
62	文化遺産を活用した学びの場づくり	文化財の保存と活用 史跡等指定・選定数(追加指定を含む)	取組状況 (H26年度 分)	<p>国指定文化財を保全し、活用する取組を推進するなかで、地域の活性化を図る。</p> <p>1 国史跡「阿波遍路道」については、阿南市において「かも道」の追加指定に向けた準備を進め、平成27年度の指定をめざしている。また、遍路道「焼山寺道・一宮道」の文化財・測量調査を行った。</p> <p>2 藍住町においては、守護町勝瑞遺跡の「正貴寺跡」について、平成25年度に引き続き、国史跡「勝瑞城館跡」の追加指定に向けた意見書を行った。</p> <p>3 鳴門市においては、「唸門・板野古墳群」について、指定に向けた意見書申請の準備を進めた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H26)</th> <th>目標値(H26)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>13</td> <td>14</td> <td>15</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>100.0%</td> <td>15</td> <td>17</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位:件)</p> <p>(成果) 藍住町において、史跡「勝瑞城館跡(正貴寺跡)」が追加指定された。</p> <p>(課題) 順次指定・選定を進める上で、地権者との指定・選定範囲の確定を行うなど調整を進める必要がある。</p> <p>指定に向け準備が整った史跡等に関しては、文化庁及び関係市町村と調整を図りながら、順次指定・選定を進めていく。見直しの結果、平成28年度以降の目標値を上方修正した。</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)	13	14	15				100.0%	15	17									
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)																							
13	14	15				100.0%	15	17																							
63	文化遺産を活用した学びの場づくり	文化財の保存と活用 国・県指定文化財件数	取組状況 (H26年度 分)	<p>事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>国指定・県指定等の文化財を保全し、活用する取組を推進するなかで、地域の活性化を図る。</p> <p>1 国指定等については、文化庁と連携し、市町村の取組を支援した。その結果、「徳島県観音寺・致地道跡出土品」が重要文化財(考古資料)指定の答申が出され、また、「大歩危」の名勝指定、史跡「勝瑞城館跡」「阿波遍路道」及び天然記念物「野神の大センダン」の追加指定について、それぞれ意見書申請してきた。</p> <p>2 県指定については、市町村と連携し、新指定への取組を進めた。その結果、阿波木隅「三番壺まわし」を無形民俗文化財に指定することができた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H26)</th> <th>目標値(H26)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>94</td> <td>95</td> <td>95</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>100.0%</td> <td>95</td> <td>97</td> </tr> <tr> <td>333</td> <td>335</td> <td>335</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>100.0%</td> <td>335</td> <td>338</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位:件)</p> <p>(成果) 国指定・県指定ともに目標に到達し、適切に文化財を保存することができた。</p> <p>(課題) 国指定等については、調査が終了したものの、所有者等の同意が得られないこと等により、指定・選定に至っていないものがある。</p> <p>貴重な文化財を後世に伝え、活用していくため、文化庁・市町村等と連携し、新指定を進めていく。</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)	94	95	95				100.0%	95	97	333	335	335				100.0%	335	338
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)																							
94	95	95				100.0%	95	97																							
333	335	335				100.0%	335	338																							

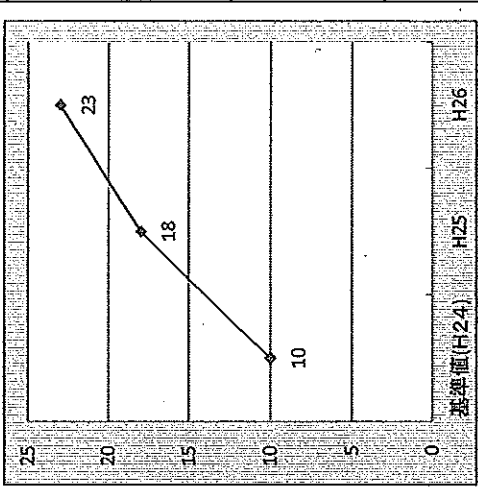
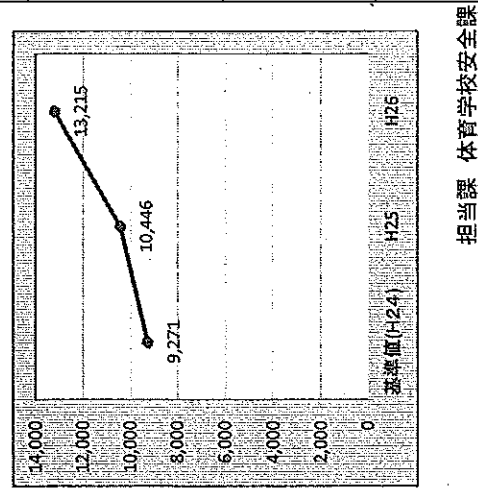
番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
64	文化遺産を活用した学びの場づくり	文化財の保存と活用 文化財防災対策の実施 担当課 教育文化政策課	<p>南海トラフの巨大地震等の災害から、貴重な文化財を守る。</p> <p>事業目的</p> <p>1 国の「文化遺産を活かした地域活性化事業」を活用し、文化財個別カルテの作成を進めた。 2 「文化財個別カルテ」作成のための調査員研修会には、市町村教育委員会職員、文化財所有者も参加した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H26)</th> <th>目標値(H26)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>文化財ハザードマップの作成</td> <td>文化財個別カルテの作成</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>文化財個別カルテの作成</td> <td>文化財防災対策の充実</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：—)</p> <p>(成果) 建造物・美術工芸品を中心に、「文化財個別カルテ」の作成を計画通りに進めた。カルテ作成の協力依頼を文化財所有者に送るとともに、研修会にも参加したことで、防災意識を高めることができた。</p> <p>(課題) 「文化財個別カルテ」の作成は、国・県指定有形文化財の半数程度であり、事業を継続する必要がある。</p> <p>今後の取組方針</p> <p>引き続き、「文化遺産を活かした地域活性化事業」を活用し、「文化財個別カルテ」の作成を進める。</p>	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)	—	文化財ハザードマップの作成	文化財個別カルテの作成					文化財個別カルテの作成	文化財防災対策の充実
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)													
—	文化財ハザードマップの作成	文化財個別カルテの作成					文化財個別カルテの作成	文化財防災対策の充実													
65	文化遺産を活用した学びの場づくり	いいしえ夢街道 活用ゾーン設定数(累計) <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H26)</th> <th>目標値(H26)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>100.0%</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：ゾーン)</p> 担当課 教育文化政策課	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)	6	7	8				100.0%	8	8	<p>事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>県内で整備事業を実施または計画している国指定史跡や県・市町村史跡及び、周辺の様々な指定文化財や埋蔵文化財を含む未指定文化財を結び、これを夢のあるストーリーを持つ「群」として位置づけ、各地の博物館、資料館等とリンクさせることによって活用価値を高め、文化財を活かした地域振興に寄与する。</p> <p>1 三好市の白地城・通路道「雲辺寺道」等を主題に地元小学校での文化財展・講座、ウォーキングイベントを実施し、ゾーン化を図った。 2 海部郡を中心とした「海の道ゾーン」において、美波町田井遺跡・牟岐町内の通路道等を主題に地元中学校での文化財展・講座、講演会、ウォーキングイベントを実施した。</p> <p>(成果) 既設定ゾーンの活用を図るとともに、県西部(三好市)で新ゾーンを設定した。</p> <p>(課題) 各ゾーンにおいて、更なる文化財等の保護と活用を図るため、ポランティアの育成及び資質向上を図る必要がある。</p> <p>ゾーンの定着化をめざすため、地域住民によるポランティアの養成及び資質向上等を支援していく。</p>
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)													
6	7	8				100.0%	8	8													

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針																										
66	文化遺産を活用した学びの場づくり	<p>いにしえ夢街道 いにしえ講演会参加人数(累計)</p> <table border="1"> <caption>いにしえ講演会参加人数(累計)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>434</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>557</td> </tr> </tbody> </table>	年度	参加人数	H25	300	H26	434	H26	557	<p>事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>県内の史跡・文化財についての講演会を開催することによって、史跡・文化財の総合的な活用を図り、県民の文化財保護意識を醸成するとともに、県民による文化財の活用を進める。</p> <p>1 三好市の白地城・通路道「雲辺寺道」等を主題に地元小学校での文化財展・講座、ウォーキングイベントを実施した。</p> <p>2 海部郡を中心とした「海の道ゾーン」において、美波町内井遺跡・牟岐町内の廻路道等を主題に地元中学校での文化財展・講座、講演会、ウォーキングイベントを実施した。</p> <table border="1"> <caption>(単位：人)</caption> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H26)</th> <th>目標値(H26)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>300</td> <td>434</td> <td>557</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>92.8%</td> <td>600</td> <td>900</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果)上記の取組により、「いにしえ夢街道」活用ゾーンの情報発信を促進し、文化財保護意識の向上や地域資源としての文化財の活用につなげることができた。</p> <p>(課題)参加者のニーズを把握するとともに、「活用ゾーン」の今後の活性化につながる企画を検討する必要がある。</p> <p>参加者のニーズ把握に基づいた講演会内容の検討を行うとともに、「活用ゾーン」の活性化につながる企画を進める。</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)	300	434	557				92.8%	600	900
年度	参加人数																												
H25	300																												
H26	434																												
H26	557																												
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)																					
300	434	557				92.8%	600	900																					
67	学び続ける場と機会の充実	<p>担当課 生涯学習政策課</p> <p>各種団体の活性化・人材育成 生涯学習・社会教育関係職員対象の研修</p> <table border="1"> <caption>各種団体の活性化・人材育成 生涯学習・社会教育関係職員対象の研修</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	年度	回数	H25	2	H26	3	<p>事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>市町村教育委員会の生涯学習及び社会教育担当者や社会教育指導員を対象とした研修会や事業説明会を実施し、職員のスキルアップを図るとともに、県と市町村の連携を強化する。</p> <p>第56回全国社会教育研究大会徳島大会に向けて、大会運営の協議を行うとともに社会教育推進の機運を高めるための研修会を3回実施した。</p> <p>また、市町村教育委員会担当者に対しては、次年度事業説明会を開催し、国や県の動向や施策について説明を行い、各種事業に対する共通理解を図った。</p> <table border="1"> <caption>(単位：回)</caption> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H26)</th> <th>目標値(H26)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>2</td> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>150.0%</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果)全国大会の開催に向けて県内24市町村の協働体制が確立し、市町村担当者の意識向上が図られた。</p> <p>(課題)市町村の社会教育関係職員だけでなく、社会教育関係者を含めた合同の研修会の開催を検討する必要がある。</p> <p>平成26年度の全国社会教育研究大会の大会成果をふまえ、県内の社会教育委員、行政担当者、社会教育団体関係者を集めた研究大会の開催を検討する。</p>	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)	-	2	3				150.0%	2	2		
年度	回数																												
H25	2																												
H26	3																												
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)																					
-	2	3				150.0%	2	2																					

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針																												
68	学び続ける場と機会の充実	<p>学習成果を社会に還元する機会の充実 生涯学習情報システムの団体・人材新規登録者数 (累計)</p>  <table border="1"> <caption>生涯学習情報システムの新規登録者数(累計)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>登録者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>152</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>162</td> </tr> </tbody> </table>	年度	登録者数	H23	30	H25	152	H26	162	<p>事業目的 県と市町村、及び県内生涯学習関連施設等が連携し、収集した生涯学習情報をデータベースとして集積し、インターネットを利用して県民や市町村、生涯学習施設等に公開することにより、学習活動の支援と良質な生涯学習情報の提供を行う。</p> <p>取組状況 (H26年度分) 人材・指導者、団体・サークルのほか、講座・イベント、施設、視聴覚教材、マナビイセンター図書情報の6種類の情報を、インターネットを利用し情報提供した。新規登録として、総合教育センター生涯学習課の主催講座受講修了者などから指導者、団体・サークルを追加した。 登録した指導者情報は、総合大学の「まなびーあ人材情報」として活用した。</p> <table border="1"> <caption>登録者数</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H26)</th> <th>目標値(H26)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準値(H23)</td> <td>30</td> <td>152</td> <td>162</td> <td></td> <td></td> <td>135.0%</td> <td>120</td> <td>150</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 指導者・団体サークル等に係る情報提供が充実したことにより、一層の生涯学習の推進が図られた。</p> <p>(課題) 今後も大学等の関係機関と連携・協力し、情報内容の充実が必要がある。</p> <p>今後の取組方針 人材・指導者情報については、総合教育センターで生涯学習に関する講座を行った講師に登録を呼びかける。団体・サークル情報については、マナビイセンターを利用する来館者等に登録の案内を行うこととする。 平成27年度から、成果指標を「生涯学習各種講座・イベント情報アクセス回数」に変更する。</p>	項目	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)	基準値(H23)	30	152	162			135.0%	120	150		
年度	登録者数																														
H23	30																														
H25	152																														
H26	162																														
項目	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)																							
基準値(H23)	30	152	162			135.0%	120	150																							
69	生涯スポーツの振興	<p>担当課 総合教育センター</p> <p>施策・成果指標</p> <p>生涯スポーツの充実 総合型地域スポーツクラブ会員数</p>  <table border="1"> <caption>総合型地域スポーツクラブ会員数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>会員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>7,800</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>8,640</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>9,141</td> </tr> </tbody> </table>	年度	会員数	H24	7,800	H25	8,640	H26	9,141	<p>事業目的 スポーツを活用し、地域の様々な課題を解決するため、総合型地域スポーツクラブの創設・育成を支援するとともに、誰もが楽しめる生涯スポーツの普及を図るものである。</p> <p>取組状況 (H26年度分) 総合型地域スポーツクラブの創設・運営及び活動内容に関する指導・助言を行うとともに、総合型クラブにおける健康の保持・増進のためのプログラム作成及び普及、市町村との連携によるスポーツ実施率向上に向けた取組支援、競技団体との連携による子どもスポーツ体験機会の創出等を行った。</p> <table border="1"> <caption>総合型地域スポーツクラブの取組状況</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H26)</th> <th>目標値(H26)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準値(H24)</td> <td>7,800</td> <td>8,640</td> <td>9,141</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>96.2%</td> <td>9,500</td> <td>12,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 総合型クラブの市町村における設置率は、全国平均を大きく上回る92%、会員数も着実に増加を続けている。</p> <p>(課題) 総合型地域スポーツクラブを知らない人が多い人がいるため、その活動状況を地域住民に周知する努力が必要である。</p> <p>今後の取組方針 総合型地域スポーツクラブがコミュニティの拠点となるため、市町村、学校、競技団体等と連携した体制づくりを促進するとともに、多面的な視点で総合型地域スポーツクラブの定着と発展を図る。</p>	項目	H24	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)	基準値(H24)	7,800	8,640	9,141				96.2%	9,500	12,000
年度	会員数																														
H24	7,800																														
H25	8,640																														
H26	9,141																														
項目	H24	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)																						
基準値(H24)	7,800	8,640	9,141				96.2%	9,500	12,000																						

基本方針5 安全・安心で魅力あふれる教育の実現

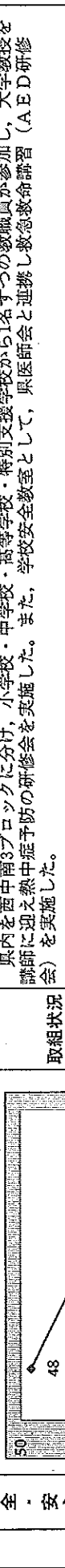
番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針																												
70	安全・安心なとくしまの学校づくり	<p>自然災害から命を守る教育環境の整備 学校施設耐震化率</p> <table border="1"> <caption>学校施設耐震化率 (単位：%)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準値</td> <td>74.5</td> <td>84.3</td> <td>88.2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-1.8%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td>90</td> <td></td> <td></td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>県立学校 74.5, 84.3, 88.2, 97.7, 95, 100 市町村立学校 85.8, 96.6, 97.7, 95, 100</p>	年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	基準値	74.5	84.3	88.2				達成率				-1.8%			目標値			90			100	<p>事業目的 公立学校は、その多くが災害時の避難場所に指定されており、地震発生時の児童・生徒の安全確保はもろろんのこと、地域住民の応急避難場所としての役割を果たすことから、全ての学校施設の耐震化を計画的に推進する。</p> <p>取組状況 (H26年度分) 県立学校 74.5, 84.3, 88.2, 97.7, 95, 100 市町村立学校 85.8, 96.6, 97.7, 95, 100</p> <p>評価 (成果) 耐震化事業を計画的に実施した結果、平成27年3月31日現在の耐震化率は、県立学校は約88%、市町村立学校は約98%となり、着実に耐震化を進めている。</p> <p>今後の取組方針 (課題) 高校再編の対象校については、再編の動向を考慮しながら、耐震化事業を検討していく必要がある。</p> <p>平成27年度末の耐震化率100%に向けて、コスト削減を図りながら、耐震化と併せて施設の老朽化対策にも取り組む。</p>
年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29																									
基準値	74.5	84.3	88.2																												
達成率				-1.8%																											
目標値			90			100																									
71	安全・安心なとくしまの学校づくり	<p>自然災害から命を守る教育環境の整備 県立学校避難所施設強化・充実事業の実施校</p> <table border="1"> <caption>避難所施設強化・充実事業の実施校 (単位：%)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準値</td> <td>25</td> <td>51</td> <td>73</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td>+8.0%</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td>65</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H24	H25	H26	基準値	25	51	73	達成率			+8.0%	目標値			65	<p>事業目的 東日本大震災の教訓により、中核的な避難所となる県立学校において、避難所としての安全性とライフラインを確保し、避難生活をサポートする資機材の整備を行う。</p> <p>取組状況 (H26年度分) 県立学校 25, 51, 73, 65, 90</p> <p>評価 (成果) 県立学校45校のうち33校において、整備が完了若しくは整備着手済みとなった。</p> <p>今後の取組方針 (課題) 資材や労務費が上昇しており、予算内にいかに納めるかが課題となっている。</p> <p>「県立学校避難所施設強化・充実事業」において、体育館の天井材落下防止や窓ガラスの飛散防止対策、太陽光発電装置、屋外LED太陽光照明灯等を、平成30年度までに順次、各県立学校に設置していく。</p>												
年度	H24	H25	H26																												
基準値	25	51	73																												
達成率			+8.0%																												
目標値			65																												

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的	事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針																								
72	安全・安心なとくしまの学校づくり	<p>自然災害等から命を守る教育の推進 県立学校の「防災クラブ」の設置数(累計)</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>設置数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>23</td> </tr> </tbody> </table>	年度	設置数	H24	10	H25	18	H26	23	<p>取組状況 (H26年度分)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H26)</th> <th>目標値(H26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10</td> <td>18</td> <td>23</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>115.0%</td> <td>20校以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位:校)</p> <p>目標値(H29) 全県立中学校・高校に設置</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	10	18	23				115.0%	20校以上	<p>事業目的</p> <p>県立高等学校・中学校に「防災クラブ」を置き、防災ボランティア活動や地域と連携した防災活動を推進するとともに、避難所支援ができる知識や技術を習得することで、地域防災の即戦力となる人材を育成する。</p> <p>平成23年度から5校ずつ「防災クラブ」設置校を増やし、各設置校では、地域を巻き込んだでの防災活動や高齢者宅での家具転倒防止器具の設置等、将来の防災の担い手を育成すべく取組が行われている。新たに5校を加えた20校に県立中学校3校を加えた23校で「防災クラブ」を設置し、地域や学校の状況に応じた取組を実施している。</p> <p>(成果) 平成26年度は、徳島市部及び中央構造線活断層帯に近い2校に「防災クラブ」を設置し、将来の防災の担い手の育成をめざした取組が行われている。</p> <p>評価</p> <p>(課題) 平成23年度から、「防災クラブ」設置校を毎年5校ずつ増やしてきている。今後、県内の全県立高校に「防災クラブ」を設置するため、中心として活動する高等学校の「防災クラブ」の育成が必要である。</p> <p>今後の取組方針</p> <p>地域と連携した避難訓練を推進するとともに、各学校の特色を生かした学校防災ボランティア活動を展開し、地域防災の支援として参画する。さらに、「防災クラブ」間で交流し、活動を全県下に広げていくことを目標とする。また、市町立中学校においては、7校を追加して計20校とし、地域に根ざした防災活動を展開していく。</p> <p>被災後の学校再開に向けた教材等の復旧や青空教室等の応急教育の支援については、元教員の支援を得て、円滑な再開を図るために人材登録を進めていく。</p> <p>見直しの結果、平成27年度の目標値を上方修正した。</p> <p>平成27年度から、「自然災害等から命を守る教育の推進」の成果指標として「高校生防災士養成教」・「県立学校における防災士の資格を有する教員の配置率」を新たに設定する。</p>
年度	設置数																											
H24	10																											
H25	18																											
H26	23																											
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)																					
10	18	23				115.0%	20校以上																					
73	安全・安心なとくしまの学校づくり	<p>登下校・部活動・体育授業時の安全確保 スクールガード(学校安全ボランティア)の登録数</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>登録数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>9,271</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>10,446</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>13,215</td> </tr> </tbody> </table>	年度	登録数	H24	9,271	H25	10,446	H26	13,215	<p>取組状況 (H26年度分)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H26)</th> <th>目標値(H26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9,271</td> <td>10,446</td> <td>13,215</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>110.1%</td> <td>12,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位:人)</p> <p>目標値(H29)</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	9,271	10,446	13,215				110.1%	12,000	<p>事業目的</p> <p>子どもたちが安全・安心して教育が受けられるよう、学校や通学路の子どもの安全確保を図るため、家庭や地域の関係機関・団体と連携を図りながら、地域社会全体で子どもの安全を守る体制を整備する。</p> <p>市町村にスクールガードリーダーの配置を協力依頼し、学校安全ボランティアの養成に努め、県内の全小学校校区において13,215名の学校安全ボランティアが、登下校時の見守り活動を実施した。</p> <p>(成果) スクールガードリーダー連携協議会を実施し、学校安全ボランティアの安全確保及びスクールガード養成講習会等の情報交換を行い、児童数減少が続く状況にあって、登録数の確保を図ることができた。</p> <p>(課題) 小学校の統合及び休校により、学校安全ボランティアの増加が難しくなる。現状数を維持していくために、市町村に対してスクールガード養成講習会等の開催を依頼していく必要がある。</p> <p>今後の取組方針</p> <p>スクールガードリーダー連携協議会を実施し、登下校時の事故防止等について情報交換を行い、学校安全ボランティアの安全を図りながら、幼児・児童生徒の安全確保について整備していく。全ての小学校区において見守り活動を行い、中学校区においても安全マップの活用や不審者情報等の連絡体制の整備を進める。</p>
年度	登録数																											
H24	9,271																											
H25	10,446																											
H26	13,215																											
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)																					
9,271	10,446	13,215				110.1%	12,000																					

番号 74

推進項目 安全・安心なとくしまの学校づくり

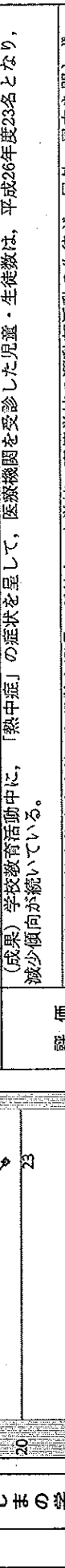
施策・成果指標 登下校・部活動・体育授業時の安全確保
 学校管理下において、熱中症の症状を呈して医療機関を受診した児童生徒数



担当課 体育学校安全課

実施・成果指標

教育相談体制の充実
 スクールカウンセラーの職務に対する学校の評価(満足度)



担当課 人権教育課

施策・成果指標

事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針

熱中症事故の予防と事故発生時の適切な対応について研修会を実施し、事故防止に対する教師の指導力向上に努め、登下校・部活動・体育授業時の児童生徒の安全確保を図る。

取組状況 (H26年度分)

基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)
48	38	23				173.9%	40人以下	40人以下

評価 (成果) 学校教育活動中に、「熱中症」の症状を呈して、医療機関を受診した児童・生徒数は、平成26年度23名となり、減少傾向が続いている。

課題) 夏の総合体育大会前、記録的な猛暑日が続き、中学校・高等学校の運動部活動の生徒が、屋外・屋内を問わず、高温に長時間さらされる状況が見られた。引き続き部活動の練習方法の工夫改善が必要である。

今後の取組方針 事故の再発を防止するため、特に、猛暑日における運動部活動では、活動の内容を事前に検討するとともに、計画的な水分の摂取・帽子の活用や着衣の工夫・濡れタオルや保冷剤等による頭部の冷却等、十分な予防措置を取り、万一発生した際には、応急手当や必要な措置が時宜を得て実施されるよう、今後も継続して、研修会を実施していく。

事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針

児童生徒のいじめや不登校等の問題行動に対応するため、スクールカウンセラーを、公立小中学校及び県立学校に配置し、相談活動の充実を図り生徒指導上の諸問題を解決することを目的としている。

取組状況 (H26年度分)

基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)
—	90	90				+5.0%	85	95以上

評価 (成果) スクールカウンセラーの資質向上に関しては、年2回のスクールカウンセラー連絡協議会における研修、及び臨床心理士会が隔月1回行っている研修会を県教育委員会も後押しをすとともに、スクールカウンセラーの自己評価制度を取り入れ、資質の向上につなげている。

課題) 優秀なスクールカウンセラーの県外流出の懸念がある。また、県立学校への配置や派遣の拡充を推進する必要がある。

今後の取組方針 今後とも、スクールカウンセラーの資質向上のため、徳島県臨床心理士会の協力のもと研修会等を行い、資質の向上を図る。

番号 75

推進項目 安全・安心なとくしまの学校づくり

施策・成果指標

教育相談体制の充実
 スクールカウンセラーの職務に対する学校の評価(満足度)



担当課 人権教育課

事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針

児童生徒のいじめや不登校等の問題行動に対応するため、スクールカウンセラーを、公立小中学校及び県立学校に配置し、相談活動の充実を図り生徒指導上の諸問題を解決することを目的としている。

取組状況 (H26年度分)

基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)
—	90	90				+5.0%	85	95以上

評価 (成果) スクールカウンセラーの資質向上に関しては、年2回のスクールカウンセラー連絡協議会における研修、及び臨床心理士会が隔月1回行っている研修会を県教育委員会も後押しをすとともに、スクールカウンセラーの自己評価制度を取り入れ、資質の向上につなげている。

課題) 優秀なスクールカウンセラーの県外流出の懸念がある。また、県立学校への配置や派遣の拡充を推進する必要がある。

今後の取組方針 今後とも、スクールカウンセラーの資質向上のため、徳島県臨床心理士会の協力のもと研修会等を行い、資質の向上を図る。

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針																																				
76	安全・安心なとくしまの学校づくり	教育相談体制の充実 スクールソーシャルワーカー配置数 <table border="1"> <tr><td>基準値(H24)</td><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>達成率(H26)</td><td>目標値(H26)</td><td>目標値(H29)</td></tr> <tr><td>9</td><td>9</td><td>10</td><td></td><td></td><td></td><td>100.0%</td><td>10</td><td>11</td></tr> </table>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)	9	9	10				100.0%	10	11	<p>児童生徒の問題行動のうち、学校だけでは解決が困難な事例に対応するため、より高度で専門的な知識を有する社会福祉士をスクールソーシャルワーカーとして配置し、学校の要請に応じて福祉的視点から児童生徒の実態把握や適切な指導方法及び対応方法等について指導助言を行うことにより、問題の解決を図ることを目的とする。</p> <p>スクールソーシャルワーカーを10名委嘱し、全市町村立小中学校及び県立学校の要請に応じて派遣した。</p> <p>(単位：人)</p> <table border="1"> <tr><td>基準値(H24)</td><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>達成率(H26)</td><td>目標値(H26)</td><td>目標値(H29)</td></tr> <tr><td>9</td><td>9</td><td>10</td><td></td><td></td><td></td><td>100.0%</td><td>10</td><td>11</td></tr> </table> <p>(成果) 公立小学校のべ3校、中学校のべ16校、高等学校1校から要請を受け、問題行動を繰り返す児童生徒への対応について、環境の改善等、福祉的な視点から指導助言を行い、学校及び保護者の問題解決能力の向上を図ることができた。</p> <p>(課題) 様々な機会を捉えて、スクールソーシャルワーカーの活動内容や期待できる効果について、より広く周知を図っていく。</p> <p>機会あるごとに、スクールソーシャルワーカーの活動内容等について周知し、一層の活用促進を図る。</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)	9	9	10				100.0%	10	11
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)																															
9	9	10				100.0%	10	11																															
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)																															
9	9	10				100.0%	10	11																															
77	社会の変化に対応した魅力ある学校づくり	担当課 人権教育課 施策・成果指標 新たな高校教育の創造 再編高校の開校	<p>事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>県内の生徒数が減少していく中、各高等学校が将来にわたり多様な教育や部活動等を実施し、活力と魅力ある教育活動を展開していくため、高校再編を推進する。</p> <p>美馬市・つるぎ町地域において、貞光工業高校と美馬商業高校を再編統合し、つるぎ高校が開校した。また、池田高校、辻高校、三好高校と教育委員会事務局による再編統合準備委員会において、三好市・東みよし町地域の再編統合に向けた協議を進めた。</p> <table border="1"> <tr><td>基準値(H24)</td><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>達成率(H26)</td><td>目標値(H26)</td><td>目標値(H29)</td></tr> <tr><td>1地域再編計画策定</td><td>開校準備</td><td>再編高校開校</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>再編高校開校</td><td>再編統合校設置</td></tr> </table> <p>(単位：一)</p> <p>(成果) つるぎ高校の開校により、工業・商業が連携した、地域の発展に貢献する人材育成を目指す教育の取組を開始した。三好市・東みよし町地域の再編統合校の学則、学校運営等について協議を進めることができた。</p> <p>(課題) つるぎ高校の円滑な運営を支援すること。池田高校、辻高校、三好高校3校による再編統合のため、調整すべき課題を十分に検討する必要がある。</p> <p>引き続き、つるぎ高等学校を支援していくとともに、三好市・東みよし町地域の再編統合準備を進めていく。</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)	1地域再編計画策定	開校準備	再編高校開校					再編高校開校	再編統合校設置																		
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)																															
1地域再編計画策定	開校準備	再編高校開校					再編高校開校	再編統合校設置																															

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針																																																
78	社会の変化に対応した魅力ある学校づくり	新たな高校教育の在り方に関する報告書の作成、個別計画の策定・実施	<p>事業目的 少子化の進行に伴う学校の小規模化への対応など、中長期的な教育課題に対する調査・研究を行い、社会の変化に対応した魅力ある高校教育の創造に取り組む。</p> <p>取組状況(H26年度分)</p> <p>徳島県農工商教育活性化協議会からの報告書を基に、平成27年度からの徳島県農工商教育活性化方針を策定した。また、徳島県高校教育戦略会議及び同調査研究部会において、全国で取組が始まっている制度と学校規模に関連する考え方の整理を行い報告をまとめた。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="6">(単位：一)</th> </tr> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>報告書作成</td> <td>成</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>個別計画策定・実施</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>計画実施</td> </tr> </tbody> </table> <p>評価 (成果) 平成27年度から5年間を期間とする本県農工商教育の活性化方針をとりまとめ、6次産業化への対応など新しい産業構造に対応した教育の方針を示すことができた。また、全国で取組が始まっている制度と学校規模に関連する考え方に ついて、これからの協議に際しての論点を整理することができた。</p> <p>今後の取組方針 (課題) 策定した農工商教育活性化方針に基づき、各専門高校での取組を進めるとともに、学校間での連携を推進する必要がある。人口減少など社会的な情勢や国の動向等を踏まえ、高校教育戦略会議における協議結果を活用していく必要がある。農工商教育活性化方針に基づき実証実験を行うなど、各専門高校の専門性の深化と連携を進める。また、人口減少など社会的な情勢や国の動向、これまでの報告を踏まえ、本県高校教育の在り方について検討を進める。</p>	(単位：一)						基準値	H25	H26	H27	H28	H29	—	報告書作成	成									個別計画策定・実施						計画実施																		
(単位：一)																																																			
基準値	H25	H26	H27	H28	H29																																														
—	報告書作成	成																																																	
					個別計画策定・実施																																														
					計画実施																																														
79	社会の変化に対応した魅力ある学校づくり	担当課 教育戦略課 施策・成果指標 特色ある学校づくり 徳島視覚支援学校・徳島聴覚支援学校両校教員の連携・協働による、地域の学校等への相談支援回数	<p>事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>事業目的 徳島視覚支援学校と徳島聴覚支援学校が、校舎等を共有する新しい教育を展開するにあたり、両校の専門性を活かした視覚・聴覚障がい教育の充実や特別支援教育推進のための人材育成を図るとともに、両校が連携した特別支援学校のセン ター的機能を発揮し、徳島ならではの視覚・聴覚障がい教育の推進を図る。</p> <p>取組状況(H26年度分)</p> <p>徳島視覚支援学校による地域の学校等への相談支援回数 268件 徳島聴覚支援学校による地域の学校等への相談支援回数 162件</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="6">(単位：件)</th> </tr> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>連携準備</td> <td>430</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>達成率(H26)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>300</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>143.3%</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>目標値(H29)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>400</td> </tr> </tbody> </table> <p>評価 (成果) 両校がそれぞれ、視覚障がい・聴覚障がいに関する専門性を発揮し、地域の小中学校等へ巡回による相談等を突 施し、視覚・聴覚障がい教育の推進を図るとともに、両校の担当者が定期的に協議を行い、両障がいを含め有する重 度障がいの幼児児童生徒への相談支援での連携を図った。</p> <p>(課題) 両校併置になり、両校の校内体制(校務分掌の名称統一等)の整備により相談支援の連携は深まりつつあるので、 今後は、地域の小中学校への相談支援活動の協働実施等さらなる連携の在り方を検討する必要がある。</p> <p>今後の取組方針 両校が連携した特別支援学校のセンター的機能の発揮に向けて、両校が連携・協働した地域の学校への支援を実施する とともに、両障がいを合わせ有する重度障がいの幼児児童生徒へのワンストップの相談支援体制を整備する。</p>	(単位：件)						基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	—	連携準備	430									達成率(H26)						300						143.3%						目標値(H29)						400
(単位：件)																																																			
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29																																														
—	連携準備	430																																																	
					達成率(H26)																																														
					300																																														
					143.3%																																														
					目標値(H29)																																														
					400																																														

番号	推進項目	実施・成果指標	事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
80	社会の変化に対応した魅力ある学校づくり	<p>実施・成果指標</p> <p>きめ細かな指導体制の整備 35人を上回とする少人数学級編成</p> <p>担当課 教職員課</p>	<p>少人数学級編成を導入することにより、一人一人に応じたきめ細やかな指導を一層充実させ、児童・生徒の生き生きとした学校生活の実現を支援する。</p> <p>全ての小学校全学年及び中学校1年生を対象として35人学級を実施した。 (国の基準を上回って配置した人数) ○小学校2年生19校19人 ○小学校3年生16校16人 ○小学校4年生24校24人 ○小学校5年生18校18人 ○小学校6年生18校18人 ○小学校1年生22校34人 計117校129人</p> <table border="1"> <caption>(単位：一)</caption> <thead> <tr> <th>基準値(H124)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H26)</th> <th>目標値(H26)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校1～4年・中学校1年に導入</td> <td>小学校1～5年・中学校1年に導入</td> <td>小学校全学年・中学校1年に導入</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>小学校全学年・中学校1年に導入</td> <td>小学校全学年・中学校1年に導入</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 平成26年度から、少人数学級編成を小学校6年生にも拡大したことから、学習内容や学習時間が増える学年にも、よりきめ細やかな指導を充実させることができた。</p> <p>(課題) 少人数学級編成の成果と課題を検証する必要がある。</p> <p>今後とも、少人数学級編成の成果と課題を検証するとともに、ティームティーチングや習熟度別指導など少人数指導の効率的な活用を図りながら、きめ細やかな指導の充実の充実に努める。</p> <p>平成27年度から、「きめ細かな指導体制の整備」の成果指標として「チェーンシステム及びびんパッケージングの実施地域数」を新たに設定する。</p>	基準値(H124)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)	小学校1～4年・中学校1年に導入	小学校1～5年・中学校1年に導入	小学校全学年・中学校1年に導入					小学校全学年・中学校1年に導入	小学校全学年・中学校1年に導入
基準値(H124)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)													
小学校1～4年・中学校1年に導入	小学校1～5年・中学校1年に導入	小学校全学年・中学校1年に導入					小学校全学年・中学校1年に導入	小学校全学年・中学校1年に導入													
81	私立学校の振興	<p>実施・成果指標</p> <p>私立学校の健全運営と魅力ある学校づくり 私立学校教育の質の向上、教育の多様性の確保</p> <p>担当課 総務課</p>	<p>事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>公教育の一環を担う私立学校は、それぞれ建学の精神に基づく独自の教育を通じて県民に多様な教育サービスを提供しており、県民が安心して私立学校を選択できるより、私立学校の経営の安定及び保護者負担の軽減を図る。また、私立学校の特色づくり、魅力アップ、子育て支援とともに地域貢献を促進し、情報発信力の強化を支援する。</p> <p>私立学校の教育条件の維持・向上、修学上の経済的負担の軽減等を目的として、学校の設置者である学校法人に対する私立学校運営費補助を行った。また、経済的理由により就学が困難な者の負担を軽減し、教育機会の均等を確保するため、高等学校等就学支援金を支給するとともに私立高等学校等就学費減額補助を行った。平成26年度から、奨学のための給付金(給付型奨学金)を創設した。</p> <table border="1"> <caption>(単位：一)</caption> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H26)</th> <th>目標値(H26)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>支援</td> <td>支援</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>支援</td> <td>支援</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 奨学のための給付金を創設したことにより生徒の就学機会の確保と保護者の経済的負担の軽減が図られた。また、補助事業の実施により、学校法人の運営及び学校設備の充実、教員の資質向上等教育条件の維持向上とともに、「幅広く私学推進事業補助金」を通じて、私立高等学校等の個性的で特色ある活動や、私立幼稚園が実施している預かり保育等に対する補助を行うことにより、特色ある教育活動の充実が図られた。</p> <p>(課題) 今後も公私間格差是正等を図る取組が必要である。</p> <p>引き続き、私立学校の振興と教育条件の向上、修学上の経済的負担の軽減、経営の健全性の向上を支援する。私立学校ならではの特色づくり、魅力アップ、預かり保育などの子育て支援の充実について、積極的に努力する学校を支援するとともに、本県私立学校教育の認知度を高めるため、情報発信力の強化を支援する。</p>	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)	—	支援	支援					支援	支援
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)													
—	支援	支援					支援	支援													

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的	取組状況(H26年度分)	評価	今後の取組方針																		
82	私立学校の振興	施策・成果指標 公私立高等学校間の連携・機能分担 公私立高等学校連絡協議会の開催 担当課 総務課	事業目的 県教育の全体の向上に向けた施策や取組が最大の効果を発揮するために、公私立高等学校間の機能分担や連携を強化する。	公私立高等学校連絡協議会等を開催し、公私立学校間での情報共有、意見交換を行う等、連携強化に努めた。また、公私立高等学校の入試説明会において、私立高等学校の入試説明や取組を紹介した。 ・第1回幹事会 10月6日 ・第2回幹事会 9月9日	(単位：－) <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H26)</th> <th>目標値(H26)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>－</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>推進</td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)	－	推進	推進					推進	推進	(成果) 10月に「公私立高等学校連絡協議会」を開催し、公立・私立の関係者が情報共有、意見交換を行い、公立・私立の関係者がそれぞれの現状や課題について協議することにより、意思疎通、相互理解が図られた。 (課題) 公私立高等学校連絡協議会の開催前の、幹事会のあり方について調整が必要である。
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)																
－	推進	推進					推進	推進																
83	希望に導く教職員の育成	施策・成果指標 優秀な教員の確保 県内外大学における教員採用に係る説明会 担当課 教職員課	事業目的 本県教育を担う教職員には、教職に対する強い使命感や高い倫理感のもとより、探求力や教職生活全体を通じて自主的に学び続ける力、専門職としての高度な知識・技能、さらには、豊かな人間性や社会性等の総合的な人間力が求められており、できる限り多くの大学生に採用審査を受審してもらえよう説明会を開催する。	中四国、関西の大学を中心として、新規の大学1校を含め17校で学校説明会を実施した。	(単位：回) <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H26)</th> <th>目標値(H26)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>14</td> <td>16</td> <td>17</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>106.3%</td> <td>16</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)	14	16	17				106.3%	16	16	(成果) 採用審査受審者及び合格者の多い大学での説明会の実施に加え、受審者の少ない特定の教科・科目の採用審査受審を促すための説明会を実施することができた。 (課題) 説明会の参加のほとんどが受審者（4回生）であり、1～3回生の参加者が増えるよう、さらに改善の余地がある。 引き続き、教員養成系の大学を中心に、県内大学はもちろん、近県の大学を訪問するなど、積極的な広報活動に努め、優秀な人材の確保に努める。 また、教員を目指す学生に早い段階からアプローチできるよう大学等へも働きかけていきたい。 見直しの結果、平成27年度以降の目標値を上方修正する。
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)																
14	16	17				106.3%	16	16																

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的	事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針																													
84	希望に導く教職員の育成	<p>教員の資質能力向上 キャリア教育、グローバル化に対応した教育及びICTを活用した教育の推進を図るための研修への参加者数(累計)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>参加者数</th></tr> <tr><td>H25</td><td>889</td></tr> <tr><td>H26</td><td>1,861</td></tr> </table>	年度	参加者数	H25	889	H26	1,861	<p>事業目的 教職員のライフステージに合わせ、経験年数や役職等に応じて実施する研修のほか、学校組織マネジメント等に関する研修や今日的な教育課題や教科指導等に対する知識技能の習得を目的とする研修等を実施し、教員の資質能力の向上を図る。</p>	<p>事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>教職員のライフステージに合わせ、経験年数や役職等に応じて実施する研修のほか、学校組織マネジメント等に関する研修や今日的な教育課題や教科指導等に対する知識技能の習得を目的とする研修等を実施し、教員の資質能力の向上を図る。</p> <p>成果指標に係る研修講座や研修内容を研修計画に位置づけ実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育 キャリア教育講座(希望研修)…12名 初任者研修…145名 教職5年次研修…158名 ・グローバル化 小中高英語教育実践講座…190名 ・ICT活用 初任者研修…145名 新規採用学校栄養職員研修…33名 10年経験者研修…113名 ・ICT活用 幼稚園教諭10年経験者研修…11名 ICT活用指導力向上研修(希望研修)…195名 ○合計 972名 <table border="1"> <tr><th colspan="5">(単位:人)</th></tr> <tr><th>基準値</th><th>H25</th><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>達成率(H26)</th><th>目標値(H26)</th><th>目標値(H29)</th></tr> <tr><td>—</td><td>889</td><td>1,861</td><td></td><td></td><td></td><td>116.3%</td><td>1,600</td><td>4,000</td></tr> </table> <p>(成果) ライフステージに応じた研修を体系的・計画的に実施することにより、教員の資質能力の向上を図ることができた。また、アンケートをもとに、次年度に向けてより効果的な研修計画を立てることができた。</p> <p>(課題) 児童生徒と向き合う時間を確保するために、より合理的で効果的な研修を工夫する必要がある。また、教員が「自ら学び続ける」ことができるような内容や方法を考慮した研修も検討していく必要がある。</p> <p>特に、成果指標に係る研修講座については、喫緊の課題と捉え、教員の授業力向上に資する研修内容や演習・体験活動等を取り入れた研修方法の改善に取り組む。</p> <p>さらに、実施後の効果検証等をもとに研修内容・方法の改善を計画的に行いながら、研修講座の充実を図る。また、教員の資質能力の向上を図る。</p> <p>見直しの結果、平成27年度以降の目標値を上方修正する。</p>	(単位:人)					基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)	—	889	1,861				116.3%	1,600	4,000
年度	参加者数																																
H25	889																																
H26	1,861																																
(単位:人)																																	
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)																									
—	889	1,861				116.3%	1,600	4,000																									
85	希望に導く教職員の育成	<p>担当課 特別支援教育課</p> <p>施策・成果指標</p> <p>教員の資質能力向上 教諭の「特別支援学校が対象とする障がい種に対応した免許状」の保有率</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>保有率</th></tr> <tr><td>H25</td><td>72</td></tr> <tr><td>H26</td><td>76</td></tr> </table>	年度	保有率	H25	72	H26	76	<p>事業目的 特別支援学校や小・中、高等学校の教諭等で、特別支援学校教諭免許状(一種、二種)の取得を希望する者に対して、文部科学省が認定する教員免許法認定講習会を開催し、特別支援学校教諭一種又は二種免許状を取得させることにより、教職員の特別支援教育に関する専門性の向上を図ることを目的とする。</p>	<p>事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>特別支援学校や小・中、高等学校の教諭等で、特別支援学校教諭免許状(一種、二種)の取得を希望する者に対して、文部科学省が認定する教員免許法認定講習会を開催し、特別支援学校教諭一種又は二種免許状を取得させることにより、教職員の特別支援教育に関する専門性の向上を図ることを目的とする。</p> <p>徳島県教育委員会教育職員免許法認定講習会を6講座開講した。平成26年度は、講習会受講対象者を幼稚園教諭や養護教諭・栄養教諭にも拡大した。</p> <table border="1"> <tr><th colspan="5">(単位:%)</th></tr> <tr><th>基準値(H23)</th><th>H25</th><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>達成率(H26)</th><th>目標値(H26)</th><th>目標値(H29)</th></tr> <tr><td>72</td><td>75</td><td>76</td><td></td><td></td><td></td><td>-4.0%</td><td>80</td><td>80</td></tr> </table> <p>(成果) 徳島県教育委員会教育職員免許法認定講習会を268名が受講し、特別支援教育に関わる教職員の専門性向上を図ることができた。</p> <p>(課題) 障がい種別によって、免許状の保有率が伸びにくい。</p>	(単位:%)					基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)	72	75	76				-4.0%	80	80
年度	保有率																																
H25	72																																
H26	76																																
(単位:%)																																	
基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)																									
72	75	76				-4.0%	80	80																									

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的	事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
86	希望に導く教職員の育成	教員の資質能力向上 各県立学校・市町村教育委員会におけるコンプライアンス研修(要請)の実施回数(累計)	事業目的 これまでの取組を拡充させ、全教職員の「コンプライアンス意識」の更なる高揚を目指し、コンプライアンス推進室から講師を派遣して、各所属におけるコンプライアンス研修の充実を図る。	事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針 これまでの取組を拡充させ、全教職員の「コンプライアンス意識」の更なる高揚を目指し、コンプライアンス推進室から講師を派遣して、各所属におけるコンプライアンス研修の充実を図る。 1 推進員会議、各校長会、管区別教育長会等の各種会議において、講師派遣の広報に努めた。 2 「コンプライアンス研修のページ」を開設し、講師派遣申込書をダウンロードできるようにした。 3 県立学校(17校)、市町村教委主催の研修会(2)、小中学校(6校)、事務局・教育機関(4)へ講師を派遣し研修を実施した。 (単位:回) <table border="1"> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H26)</th> <th>目標値(H26)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> <tr> <td>9</td> <td>23</td> <td>52</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>130.0%</td> <td>40</td> <td>100</td> </tr> </table> (成果) 昨年同様、各校の課題や実情に応じた研修内容を作成し、ポイントを絞った研修が実施できることに加え、直接各校の教職員と接してその声を聞くことができ、大きな意義がある。研修実施後のアンケートでも、約98%から肯定的評価を得ており、「大変良かった」の評価は平成25年度の58.4%から70.8%へと上昇した。 (課題) 昨年度に続いて要請を受けた学校も多かったが、まだ未実施の学校も多いので、継続的な研修実施に加えて、新たな研修実施校の拡充が必要である。 新たな研修実施校を増やすために、講師派遣に関するパンフレット等を作成し、「講師派遣申込書」とともに配布する。また、平成26年度に開設した「コンプライアンス研修のページ」を有効活用し、効果的な広報に努めるとともに、要請を受けた学校の要望に応じた研修内容を工夫し、その充実を図る。	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)	9	23	52				130.0%	40	100
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)														
9	23	52				130.0%	40	100														
87	希望に導く教職員の育成	担当課 コンプライアンス推進室 施策・成果指標 メンタルヘルス・健康維持 精神科医等による相談事業、メンタルヘルスマネジメントセミナー、職場復帰支援事業等の実施	事業目的 一次予防として、職場のメンタルヘルス対策に熟知した管理職を養成することで、職場単位でのメンタルヘルス対策の推進やメンタルヘルス不調者の早期発見・早期対応に努め、出前講座で教職員のメンタルヘルスに対する理解を促進する。また、二次予防として、専門相談員による相談事業により、教職員個人の悩み・不安等の軽減を図る。さらに、三次予防として、教職員職場復帰支援により、メンタルヘルス不調による病休から復職した教員やその管理職への助言指導及び経過観察をすることで再発防止に努める。 (成果) メンタルヘルス対策について一次予防から三次予防まで体系的に取り組みができてきた。 (課題) メンタルヘルス対策事業の成果の蓄積を総合評価し、さらに教職員の現状に即した対策へと充実させる。 教職員のメンタルヘルスに関する情報を整理し、共済組合等関係機関との連携のもと、実態に即したメンタルヘルス対策の充実を図る。	事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針 一次予防として、職場のメンタルヘルス対策に熟知した管理職を養成することで、職場単位でのメンタルヘルス対策の推進やメンタルヘルス不調者の早期発見・早期対応に努め、出前講座で教職員のメンタルヘルスに対する理解を促進する。また、二次予防として、専門相談員による相談事業により、教職員個人の悩み・不安等の軽減を図る。さらに、三次予防として、教職員職場復帰支援により、メンタルヘルス不調による病休から復職した教員やその管理職への助言指導及び経過観察をすることで再発防止に努める。 1 「メンタルヘルスマネジメントセミナー」は新任教頭等を対象として3回実施し、116名が受講した。「出前講座」は希望校25校686名が受講した。 2 「教職員相談事業」は12名の専門相談員が相談を実施した。 3 「教職員健康相談事業」は福利厚生課健康師が実施し、総計38件(面接12件、電話等24件、調整会議2件)で、個別対応に努めた。 4 「教職員職場復帰支援事業」は7名に対して実施した。 (単位:一) <table border="1"> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H26)</th> <th>目標値(H26)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> <tr> <td>-</td> <td>予防的取組・復帰支援促進 件数</td> <td>予防的取組・復帰支援促進 件数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (成果) メンタルヘルス対策について一次予防から三次予防まで体系的に取り組みができてきた。 (課題) メンタルヘルス対策事業の成果の蓄積を総合評価し、さらに教職員の現状に即した対策へと充実させる。 教職員のメンタルヘルスに関する情報を整理し、共済組合等関係機関との連携のもと、実態に即したメンタルヘルス対策の充実を図る。	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)	-	予防的取組・復帰支援促進 件数	予防的取組・復帰支援促進 件数						
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)														
-	予防的取組・復帰支援促進 件数	予防的取組・復帰支援促進 件数																				

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針																																	
88	希望に導く教職員の育成	メンタルヘルス・健康維持 特定健康診査・特定保健指導への積極的な対応による教職員の健康の保持増進	<p>糖尿病等生活習慣病対策及び医療費を抑制するとともに、教職員が安心して教育活動に専念し能力を十分発揮できるための健康支援とする。</p> <p>1 「定期健康診断」は全教職員が受診できるように各学校衛生管理者と連携実施し、特定健康診査の実施主体である共済組合へ検査データを提供した。 2 「教職員健康管理支援事業」では教職員に対して定期健康診断等の結果に応じた助言指導を実施し、特定保健指導につなげた。 3 定期健康診断等の結果の統計を各衛生管理者と共有し、所属での啓発につなげた。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2">基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H26)</th> <th>目標値(H26)</th> <th>目標値(H26)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">生活習慣の改善促進</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">生活習慣の改善促進</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：一)</p> <p>(成果) 定期健康診断等の受診率は高率であり、各教職員が自分の健康状態を把握するきっかけとなっている。</p> <p>評価 (課題) 教職員個人の生活習慣改善につなげるためには、個別支援が不可欠であり、各学校に設置する健康管理医の有効な活用や共済組合が実施する特定保健指導の積極的な受診勧誘が重要である。</p> <p>今後の取組方針 「教職員健康管理支援事業」の拡充を図り、生活習慣病予防の出席講座を実施し、さらに、各学校衛生管理者及び共済組合等関係機関との連携を強化し、健診受診率向上及び生活習慣改善への啓発をすすめる。</p>	基準値		H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)	生活習慣の改善促進											生活習慣の改善促進										
基準値		H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)																										
生活習慣の改善促進																																				
生活習慣の改善促進																																				
89	教育機関の運営体制の充実	<p>担当課 福利厚生課</p> <p>施策・成果指標</p> <p>枝務の情報化 県立学校への総務事務・学校支援システムの導入</p>	<p>事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>事業目的 枝務の情報化により教職員の枝務負担を軽減し、教職員が生徒と向き合う時間を増加させ、魅力ある学校づくりを推進する。</p> <p>平成26年度県立高校入学生から生徒の出欠・学籍管理・成績処理等の基本的な枝務を共通システムとして行う「学校支援システム」の運用を開始した。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2">基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H26)</th> <th>目標値(H26)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">推進(総務事務)システムの導入</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">推進(学校支援)システムの導入</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：一)</p> <p>(成果) 平成26年度県立高校入学生から学校支援システムの運用を開始し、効率的な枝務処理に向けた取組を推進することができた。</p> <p>評価 (課題) 学校支援システムの円滑な運用を推進するため、支援環境の充実とシステムとのシステム連携を確認するための試験運用や成28年度の旅費システム導入に向け、総務事務システムと学校支援システムとのシステム連携を確認するための試験運用を実施する必要がある。 総務事務システム及び学校支援システムの機能連携に向けた機能改善を図るとともに円滑な運用に取り組む。</p> <p>今後の取組方針 担当課 総合教育センター</p>	基準値		H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)	推進(総務事務)システムの導入										推進(学校支援)システムの導入												
基準値		H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)																											
推進(総務事務)システムの導入																																				
推進(学校支援)システムの導入																																				

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針																							
90	教育機関の運営体制の充実	徳島県教育振興計画の進行管理 改善・見直しの実施	<p>事業目的 毎年度末に、「徳島県教育振興計画(第2期)」の次年度に向けた事業内容や達成目標等について検討を行い、計画の改善・見直しを実施することにより、本県教育行政の各種施策の効果的・効率的推進や組織運営の充実に資する。</p> <p>取組状況(H26年度分) 教育行政の点検・評価の結果を反映させるとともに、「徳島県教育振興計画(第2期)」策定後の社会状況の変化や新たなニーズに対応するという視点を取り入れて、計画の改善・見直しを実施した。</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">(単位：－)</td> </tr> <tr> <td>基準値</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>達成率(H26)</td> <td>目標値(H26)</td> <td>目標値(H29)</td> </tr> <tr> <td>－</td> <td></td> <td>実施</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>実施</td> <td>実施</td> </tr> </table> <p>評価 (成果)「徳島県教育振興計画(第2期)」の2年目段階での進捗状況を確認することができた。また、そのことにより、適切に成果指標や目標値を見直すことができた。</p> <p>(課題)見直しの結果を目標達成につなげるとともに、新規の施策の内容を確実に振興計画に取り込んでいく必要がある。</p> <p>今後の取組方針 平成26年度の「徳島県教育振興計画(第2期)」の改善・見直し結果については、教育委員会、議会に報告するとともに、ホームページで公表する。また、今後も点検・評価の結果を受けて改善・見直しを実施し、各種施策の効果的な推進を図っていく。</p>	(単位：－)					基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)	－		実施					実施	実施
(単位：－)																										
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)																		
－		実施					実施	実施																		
91	教育機関の運営体制の充実	徳島県教育振興計画の進行管理 点検・評価委員会の開催	<p>事業目的 外部有識者委員からなる徳島県教育行政点検・評価委員会を開催し、教育振興計画の進捗状況について、点検・評価を実施し、県議会に報告することにより、徳島県教育振興計画を着実に実施する。</p> <p>取組状況(H26年度分) 8月11日に徳島県教育行政点検・評価委員会を開催し、点検・評価委員からご意見・ご助言をいただいた。その結果に関する報告書を作成し、県議会に提出するとともに、県のホームページを通じて公表した。</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">(単位：－)</td> </tr> <tr> <td>基準値</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>達成率(H26)</td> <td>目標値(H26)</td> <td>目標値(H29)</td> </tr> <tr> <td>－</td> <td></td> <td>実施</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>実施</td> <td>実施</td> </tr> </table> <p>評価 (成果)平成26年度は「徳島県教育振興計画(第2期)」に基づき実施の初めでの点検・評価委員会であったが、キャリア教育、体力向上、食育、防災対策などについて有意義な意見を頂くことができ、施策を実施する上での指針とすることができた。</p> <p>(課題)点検・評価委員の意見をさらに伺うために、会議の進め方等に工夫が必要である。</p> <p>今後の取組方針 点検・評価委員の様々な意見を今ままで以上に伺うことができようように会議の進め方や参加者等、点検・評価委員会へのあり方を検討する。そして、会議で頂いた意見を「徳島県教育振興計画(第2期)」の改善・見直しに適切につなげていく。</p>	(単位：－)					基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)	－		実施					実施	実施
(単位：－)																										
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)																		
－		実施					実施	実施																		